

氷ノ山で発見されたナガタネガイについて

(軟体動物腹足綱有肺亜綱柄眼目キバサナギガイ科)

東 良 雄*

Notes on *Columella edentula* (Draparnaud, 1805) Vertiginidae Pulmonata
found in Mt. Hyōno-sen Hyogo Prefecture, Japan.

Yoshio AZUMA

氷ノ山は但馬山地に属する兵庫県の最高峰(標高1510 m)である。筆者が、1985年、1986年にわたっておこなった氷ノ山山麓の動植物分布調査の結果、ナガタネガイ *Columella edentula* (Draparnaud, 1805) を発見したのでここに報告する。

ナガタネガイは軟体動物の有肺亜綱柄眼目に属する殻高数ミリメートルの微小なカタツムリである。微小な貝殻をもつため分布が広いわりには発見されにくい陸貝である。二度の調査の結果、氷の山の標高約800 mの夏緑広葉樹林帯で生息しているところを発見した。

ナガタネガイ *Columella edentula*

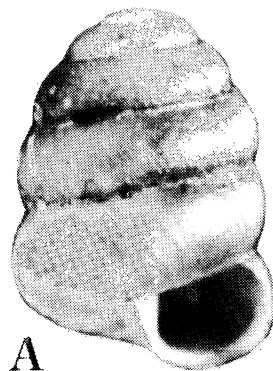
(Draparnaud, 1805)

(Text-fig. 1, Text-fig. 2, Text-fig. 3)

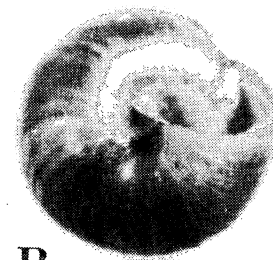
氷ノ山で発見したナガタネガイの殻高は1.8~2.1mm、殻径は1.2~1.4mmで螺層は5½~5¾層である。貝殻の外形は Text-fig. 1 のごとく円筒形。殻色は光沢のある角褐色。螺塔はふくれ体層は比較的小さい。殻口は円く、口縁はうすく鋭い。軸唇は少し反りかえるなどの特徴がある。軟体の背部、側面上部は暗黒色。触角の柄部は黒色。足部は乳白色。尾端は突起状にならない。

ナガタネガイは、ヨーロッパ、アジア、アメリカの北極圏内に分布しており、いわゆる寒帯区系の陸貝である。日本でも既に、北海道から本州の陸奥以南、加賀白山および伊吹山等で分布が確認されていた。今回の発見地標高約800 m地点では、ツルウメモドキ (*Celastrus orbiculatus*, Thunberg: ニシキギ科) の葉裏や倒木上で生息していることがわかった。また、樹上に生息する貝はほとんど幼貝や亜成体であった。氷ノ山が植物分布上注目されることは、山頂近くにある古生沼湿原等で寒帯・亜高山帯要素の植物が遺存的にみられることである。

また、この山の植物相の特徴としてあげられるブナ林要素は日本海側に分布の中心をもつ日本海要素の植物であ



A



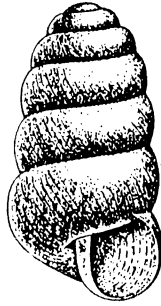
B

Text-fig. 1: *Columella edentula* (Draparnaud, 1805) (1.9mm×1.3mm 5½ whorls) ナガタネガイ

A : apertural view

B : basal view

*宝塚市宝梅 1-13-7



Columella edentula × 12

Text-fig.2 : *Columella edentula*

ナガタネガイ

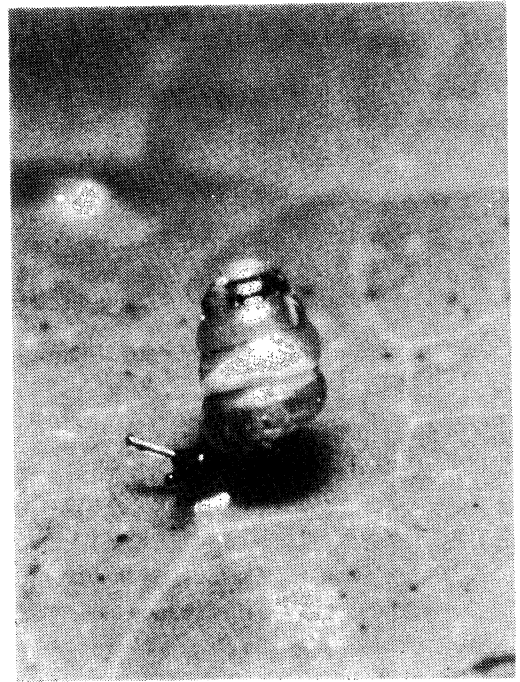
(G. Riley, 1979 より転写)

ることである。一方、ナガタネガイは前述のとおり世界の寒帯区を中心に分布する北方系の陸貝である。また、東が以前に同山系で発見したエチゴキセルモドキガイ *Mirus andersonianus echigoensis* (Pilsbry & Hirase, 1903) は日本海側のブナ林帯を中心に分布する陸貝である。これらのことからナガタネガイは氷ノ山の生物相の特徴を裏付ける軟体動物の一つと考えられ興味深い。詳細については今後の研究にまちたい。

最後に本報告をまとめるにあたり、いろいろお世話になった小西幸雄博士および東正雄先生に感謝の意を表します。

ABSTRACT

I have collected some living specimens of *Columella edentula* (Draparnaud, 1805) from Mt. Hyōno-sen (about 800 meters Altitude) Hyogo Pref. Japan on June 1986, which discovered on the back of leaves and sphacelated barks of *Celastrus orbiculatus* Thunberg (Celastraceae). This species is widely spread in the Palaearctic Region of Europe, Asia and North America. And this species belongs to the Northern element land snails. The characteristic vegetation on the flora of Mt. Hyōno-sen consists of *Fagus* Zone (Japan sea element plants). I think that *Columella edentula* may be characterized the fauna of Mt. Hyōno-sen.



Text-fig.3 : Living animal (*C. edentula*)

ナガタネガイの軟体

文 献

- 東正雄 1982 原色日本陸産貝類図鑑 保育社, 大阪
 Kerney M.P., Cameron R.A.D., Riley G. 1979
 A field guide to the Land Snails of Britain
 and Northwest Europe Collins London
 黒田徳米 1957 日本及び隣接地域産陸棲貝類相 (3)
Venus 19 (3.4) : 279~280
 中西哲・西本孝 1984 北但山地の植生と植物相 遺伝
 (38巻5号) : 59~66
 Pilsbry H. A. 1948 Land mollusca of North
 America (North of Mexico)
 The academy of natural sciences of philad-
 elphia : 1000~1006